

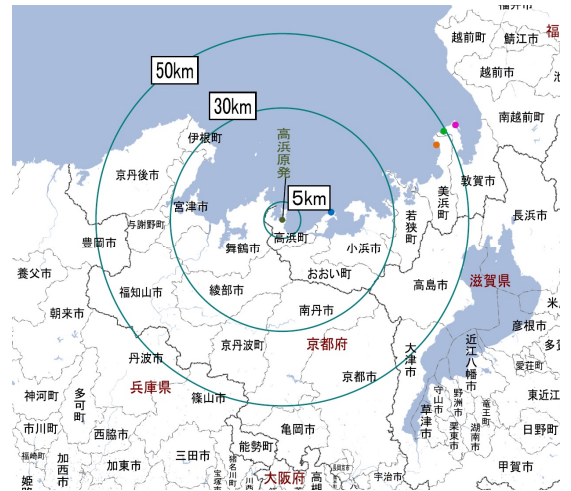
高浜原発3・4号の再稼働を止めよう!

高浜原発の再稼働を止めるために、学習・討論会を開きます。これまでの活動を踏まえて、今後どのような活動が必要なのか等々、一緒に議論しましょう。ぜひ、ご参加ください。

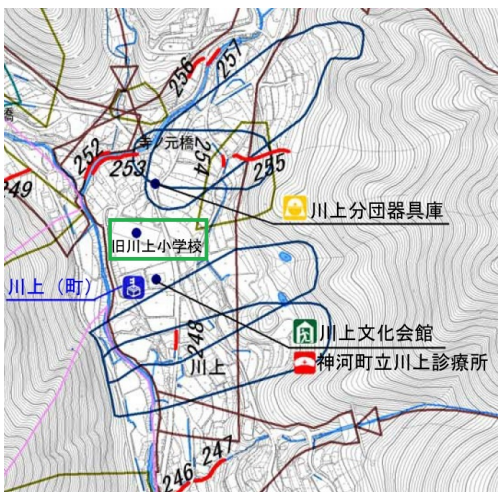
高浜3・4号の再稼働に向けた動きが急ピッチで進んでいます。関電は、10月31日に「補正申請書」を出し、規制委員会は年内にも「合格書」にあたる「審査書(案)」を仕上げようとしています。川内原発の場合には実施した全国からのパブコメは、今回は「やるかどうか決めていない」として実施しない可能性もあります。

●30 km圏内には京都北部の約 12.6 万人が含まれている

年明け早々には地元同意が問題となります。福井県知事は、早々と「県主催の住民説明会はやらない」「地元同意は福井県と高浜町」と述べ、周辺住民の民意を無視しています。



小浜市民(口名田東相生地区)223名の避難所「旧川上小学校」は土砂災害の危険区域内



兵庫県神崎郡神河町ハザードマップより
茶色は土砂災害警戒区域

しかし、高浜原発から30km圏内には、福井県(高浜町・おおい町・小浜市・若狭町)の約5万4千人と、京都北部の約12万6千人も含まれます(京都北部の4市2町:舞鶴市・綾部市・京丹波町・南丹市・宮津市・伊根町)。

避難先の兵庫県でも、シミュレーションで高い被ばく予測が出ています。事故で琵琶湖が汚染されれば滋賀はもとより、大阪も含めて関西一円に被害が及びます。これら周辺自治体・住民の同意が必要です。

●小浜市民の避難所(神河町)は土砂災害の危険区域

これまで、避難先・避難元の自治体への申し入れ、要援護者施設の訪問等を重ねてきました。また新たに、避難所が土砂災害等の危険区域に設定されたままで、実際には避難できない箇所もあります。現在、避難先自治体にアンケートを出し、危険区域に避難所が設定されていないかを問い合わせています。このように、災害対策基本法等に違反する問題も出てきています。

●基準地震動は過小評価のまま

日本の地震の特徴を捉えた武村式で評価すれば、地震の規模は4.7倍となり、高浜原発の耐震安全性は成り立ちません。

- ❖ 日時: 11月30日(日) 13:30~17:00
- ❖ 場所: 芦屋市民センター(本館) 2階 203号室
芦屋市業平町8番24号
JR・阪神「芦屋」、阪急「芦屋川」下車。それぞれ歩いて約8分
- ❖ 参加費: 500円
- ❖ 主催: 避難計画を案ずる関西連絡会
(連絡先団体: グリーン・アクション/原発なしで暮らしたい丹波の会/原発防災を考える兵庫の会/美浜の会)

